

## ハスモンヨトウおよびオオタバコガの 防除対策を徹底しましょう

オオタバコガの[病害虫発生予察注意報（7/14 付け）](#)が病害虫防除所から発表されており、湖北管内でも7月下旬に本虫の食害および幼虫の発生を確認しています。

ハスモンヨトウについては長浜市に設置されたフェロモントラップで平年の約1.8倍誘殺されており、[防除情報（7/29 付け）](#)が発表されています。本虫は例年8月上旬ごろから発生が見られます。

今後も気温が高く、これらのチョウ目害虫の発生に好適な状況が続くおそれがありますので、以下を参考に防除対策を徹底しましょう。

### (1) ハスモンヨトウとオオタバコガの被害の特徴について

ハスモンヨトウの若齢幼虫が集団で葉裏を食害することにより、白変葉を発生させます（写真 a、b）。

オオタバコガはハスモンヨトウのように幼虫が集団で葉を食害することがなく、白変葉にはなりません（写真 c）。



タバコガ類：オオタバコガとタバコガを幼虫の外観から見分けることは困難。  
写真：滋賀県病害虫防除所提供

## (2)防除のポイント

- 1)ハスモンヨトウの幼虫が群生する白変葉を確認したら、すぐに除去します。
- 2)ハスモンヨトウおよびオオタバコガの幼虫の齢期が進むと薬剤の効果が低下するので、若齢期のうちに防除を実施します。その際は葉裏や株元にも十分薬剤がかかるように散布してください。
- 3)一度防除したほ場でも成虫は次々飛来し産卵することから、防除後も発生状況を確認し、発生している場合は適宜追加防除を実施しましょう。

## (3)熱中症対策

### ○予防ポイント

- ・ 高温時の作業は極力避けましょう。
- ・ 喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分補給をしましょう。
- ・ 単独作業は避け、複数名で作業を行うか、時間を決めて連絡を取り合しましょう。
- ・ 帽子や吸湿速乾性の衣服の着用、空調服や送風機等熱中症対策アイテムを活用しましょう。



### ○熱中症が疑われる場合は

(代表的な症状)

- ☞ 汗をかかない、体が熱い
- ☞ めまい、吐き気、頭痛、
- ☞ 倦怠感、判断力低下

- ・ 症状が見られた場合は、作業を中断し、涼しい場所へ避難します。
- ・ 衣類をゆるめ体を冷やす、水分・塩分補給等応急処置をします。
- ・ 応急処置をしても症状が改善しない場合は医療機関で診療を受けましょう。